

かしま

ほっと HOT 通信

4月号 Vol.327

令和2年(2020年)4月1日発行

■編集/かしま病院広報企画室
 ■発行/社団法人養生会
 〒971-8143
 福島県いわき市鹿島町下蔵持字中沢目22-1
 tel.0246-58-8010(代) fax.0246-58-8088

ホームページ <http://www.kashima.jp>

かしま病院

検索



スマートフォンをご利用の方は、
QRコードを読み取り、アクセスしてください。
PCサイトと同じ内容がご覧頂けます。



ご意見・ご感想は...

上記住所へ郵便、またはE-mailでお送り下さい。
かしま病院広報企画室(江坂 宛)まで
r-esaka@kashima.jp

巻頭特集

1 『MRI装置の
2 入れ替え工事が完了しました』

「かしまふれ愛さくら祭り」中止のお知らせ

3 看護部長交代に伴う就任のご挨拶
看護部長 片寄 睦美

3 コラム ひんがら目(154)
『感染予防のマスクの功罪』
呼吸器科 部長 山根 喜男

4 ようこそ家庭医療へ!
リハビリPOST
イベント開催予定のお知らせ
かしま荘通信

かしま病院 創立37周年

地域医療と全人的医療の実践

4月5日はかしま病院の創立記念日です。
令和最初の創立記念日を迎えて創立37周年となります。

当院は開設以来、「地域医療と全人的医療の実践」を
理念に地域医療を続けてきました。

これからも地域の皆様に寄り添い、
地域医療に貢献していきたいと思ひます。



巻頭特集



MRI装置の 入れ替え工事が完了しました。



新MRI装置は様々な機能を搭載しており、
より快適でスムーズに検査を進めることが
可能となっています。

新MRI装置について



本
年1月から開始されたMRI装置の入れ替え
工事が、約2ヶ月の期間を経て3月7日に完了
しました。今回は、新MRI装置の特徴とMRIの
検査についてお伝えします。



3月7日に入れ替え工事が完了した新MRI装置



旧MRI装置解体



新MRI装置組み立て



新MRI装置調整中

MRI装置入れ替え工事の様子



新MRI装置を簡単に説明すると、次のような特徴があります。

新MRI装置の特徴

直径71cmの広い開口径なので閉塞感が軽減され、安心した検査が可能です。

人体の形状に合わせた付属器具により自然な体勢を保ちやすくなり、どなたでも快適に検査ができるよう工夫が施されています。

多くの撮像技術を搭載しているため、撮像の高速化や高画質化がなされています。

検査時の音の発生を抑える技術により静音性が高く、リラックスして検査を受けることができます。

寝台最低高が43cmなので、どなたでも安全に乗り降りでき、転倒、転落を防止できます。

※この他にも多くの機能があり、高機能化が図られています。

MRI検査について



MRI (=Magnetic Resonance Imaging: 磁気共鳴画像診断装置) 検査という言葉が聞いただけの方が多いと思いますが、実際に検査を受けたことがある人はどのくらいいらっしゃるでしょうか。MRI検査とは、強力な磁気を

発生させると同時に、電波を使用して体の臓器や血管を撮影する検査です。頭部や脊髄、関節等の動きが少ない部位の撮影に用いられることが多いです。CT検査とは違い、X線による放射線被曝がないので負担が少ない検査となっています。しかし強力な磁気が発生する都合上、検査実施にはいくつかの制限があります。一番重要な制限は、検査室に金属類は持ち込み禁止という点です。もし金属を持ち込んでしまうと、MRI装置の磁気によって金属が装置に吸い寄せられてしまします。金属を取り外すには装置の

MRI検査とMRA検査



MRI装置を使用した頭部の検査は、MRI検査の他にMRA検査というものがあります。どちらも同じMRI装置を使用する検査ですが、2つの検査には明確な違いがあります。

MRI検査は脳の全体像を写し出し、脳卒中や脳腫瘍等が発生していないか調べることが可能です。大きな病変を発見したり、自覚症状のない小さな脳梗塞等を見ることができます。

MRA検査は、脳の血管のみを写し出し、脳血管に異常がないかを調べることができます。

磁気を落とさなければならず、再使用可能になるまでしばらく検査ができなくなってしまう。また、MRI対応でないペースメーカーを使用している方や材質の分からない体内金属のある方なども検査を受けることはできません。検査可能かどうかは検査前の問診や金属探知機にて厳重にチェックされますが、検査が実施できない場合があることをあらかじめご理解ください。

例えば、脳卒中の原因である脳動脈瘤を早期発見することができ、脳血管の異常を早期発見することで脳卒中に備えることができるので、予防的な意味合いが強い検査と言えます。健康な方でも検査を受けることにより脳卒中の発生リスクを早期発見できるため、食生活や生活習慣を改めるきっかけになるかもしれません。



かしま病院での検査について

当院では、健康保険の対象外となりますが、人間ドックのオプションコースでMRI検査とMRA検査を受けることができます。

かしま病院健診センター 人間ドック+MRI, MRA 検査料金

人間ドック基本料金
¥39,600 ~ ¥71,500

+

MRI 検査オプション料金
¥13,200 (MRI)

または、
¥19,800 (MRI、MRA、頸動脈US)

詳細やご予約に関しては、かしま病院健診センターへお問い合わせ下さい。

「かしまふれ愛さくら祭り」中止のお知らせ

本紙3月号にて、かしまふれ愛さくら祭り開催のご案内を掲載しましたが、イベント中止の決定がなされております。本紙3月号印刷開始後の中止決定であったため差し替えができず、皆様にご迷惑をおかけしました。

改めてお詫びを申し上げますとともに、かしまふれ愛さくら祭り中止のお知らせを掲載させていただきます。今後ともかしまHOTほっと通信をよろしくお願いいたします。

お問い合わせ先

かしま病院健診センター

直通

☎0246-58-8090

●受付時間

9時30分～16時30分

月曜日～金曜日

(祝日・国民の休日・年末年始を除く)

入れ替え期間中はMRI検査を実施できず、皆様にご不便をおかけしました。今後とも、より良い体制で診療にあたっていくまです。でよろしくお願いたします。

ようこそ 家庭医療へ!

～ いわきに生きる家庭医療への挑戦 ～

第122回

新型大規模災害襲来! 今こそ国民総人生会議



診療部 石井 敦

東日本大震災から9年が経過した今、世間は新型コロナウイルス感染症の脅威に翻弄されています。人が集まるあらゆる活動が長期的に制限され、この何とも言えない不安と閉塞感、そして経済的ダメージは、まさに新型大規模災害といった様相です。

新型コロナウイルス感染症の発症者の多くは自然治癒しますが、高齢者や持病を持つ方は重症化しやすく致死率も高いです。もしも自分が新型コロナウイルスに感染し発症し、重症化してしまったら…。想像するだけでゾッとしてしまいますよね? でも、ゾットしたついでに更に深く想像していただきたいのです。

既に集団感染を起こしてしまっている地域が世界中に存在します。そこでは何が起きているのでしょうか? おそらく、局地的に医療需要が急増し、すべての患者さんに同じ水準の医療を提供することが困難になっているでしょう。この状況は、大規模災害の発災直後に似ています。この場合、限られた医療資源で一人でも多くの患者さんを救うために、軽症者と逆に重症過ぎて助かる見込みの低い方を取って後回しにします。医療資源を投入するべきか否かを選別・判断しなければならなくなるのです。皆さんは「これは非常事態だ」と、ますますゾッと

するかもしれません。でもちょっと待って下さい。こんな時こそ冷静に普通に考えてみましょう。

そもそも肺炎はがん、心疾患に次いで日本人の死因第3位を占めます。もともと生命に関わる疾患なのです。ですので、新型肺炎だけを特別扱いせず、シンプルにもしも自分が重い肺炎を患って助かる見込みが低くなったらどうして欲しいかについて、あなたの周りの大切な人たちと語り合しましょう。

すでにご高齢で持病もあり「お迎えが近いかな?」と感じている方の中には「人工呼吸器など使わないで静かに看取って欲しい」というご意向の方もおられるでしょう。「できれば家で看取って欲しい」という方は、在宅ケアの条件が整えば、病院に搬送・入院する必要がなくなります。「自分の分の人工呼吸器は前途ある若者のために使ってくれ」ぐらいの気概をもった人生の先輩方が多くいる地域は医療崩壊を免れるでしょう。今こそ国民総人生会議の時。あなたの生き様を周りに示す時です。「人生会議」についての詳細は、本誌連載2020年2月号「人生会議」をする前に…をご参照ください。

かしま病院では、2008年度から家庭医を志す研修医や地域医療実習を行う医学生を受け入れています。このコラムを担当する医師の石井敦は日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医として、研修医・医学生の指導を行っています。



人はどうして動けるのか

成人の体には約200個の骨と600個もの筋肉があります。筋肉は骨にくっついていて、その筋肉が骨を引っ張ることで、動きが生まれます。筋肉単体の動きは縮んで短くなるという単純なものですが、複数の筋肉が協調して働くことで複雑な動きをつくり出します。ご飯を口に運ぶといったありふれた動作もいくつかの筋肉が共同作業をしてつくり出しています。

では筋肉と骨さえあれば動けるのかといえば、そうではありません。筋肉が収縮するためにはエネルギーが不可欠ですし、エネルギーをつくるには栄養や酸素が必要です。それらを運ぶには血流も必要です。つまり消化器系や肺、心臓、血管などの様々な臓器とその機能とが密接に関係しています。また脳の指令を

神経が筋肉に伝達しなければ筋肉は動きません。骨の連結部である関節、あるいは皮膚や脂肪体、靭帯などに問題がある場合も、やはり動きが制限されます。

リハビリテーションでは検査測定などによって情報を収集し、動きが悪い場合にはどこに問題があるのかを調べます。それに基づいてプログラムを立案します。必ずしも問題そのものを解決できるわけではないので、別のところで代償して目的を達成する場合があります。右手が動かなければ、左手で動作を遂行できるように練習するという具合です。運動や作業を通して、機能の再獲得を図ります。

体が動くという当たり前のことが、人生において重要な意味を持つことは否定できません。リハビリテーションは“当たり前”を取り戻す過程とも言えるでしょう。人はどうして動けるのか。今回はそんな問いを起点に、リハビリテーションについてお話ししました。

理学療法士 遠藤宏貴

かしま荘通信

誕生会 - 和やかなひととき - 3/16(月)



3月16日は3月に誕生日を迎えられる利用者の皆さんでティータイムを楽しみました。

利用者様からは、若いころの事、ご兄弟の事などいろいろな話題が出て皆さん話に花を咲かせていらっしゃいました。また歳の近い利用者様同士で仲良くなられた方もいらっしゃり、皆さん楽しい交流ができたようでした。

イベント開催予定のお知らせ

糖尿病何でも相談会

4月の「糖尿病何でも相談会」は、中止となりました。個別相談は随時受け付けておりますのでお声掛けください。

家庭医療セミナー ～実践家庭医～

時間 19:00～20:00 ・ 4月23日(木)
会場 かしま病院コミュニティーホール

ゆる体操教室

4月に予定していた「ゆる体操教室」は、中止となりました。

乳がん患者のつどい アイリスの会

時間 14:00～15:30 ・ 4月15日(水)
会場 かしま病院コミュニティーホール

認定看護師による 勉強会

時間 18:00～19:00 ・ 5月20日(水)
会場 かしま病院コミュニティーホール

新型コロナウイルスの影響により、予定していたイベントが中止となることもございます。ご了承下さい。